



立上り 洗い出し

1分石
2分石
(1分石2分石混合)

一液型無黄変ウレタン樹脂

1㎡セット

天然石洗い出し樹脂仕上材

1セット8mm厚で

1㎡の施工が可能です。

標準施工要領書

正しい施工を行うために必ず施工要領書をお読みください!!

下地について

- 下地はコンクリート、またはモルタルです。(ブロック、洗い出し等の上には施工できません。)
- 下地は完全に乾燥させてください。(含水率 10%以下)
新設コンクリート…14日以上
モルタル下地………7日以上
- コンクリート・モルタルともに金ゴテ押さえ同等の精度としてください。(木ゴテ押さえ、刷毛引きの上には施工できません。)
- 油脂類は、シンナーなどで完全に拭き取ってください。
- ひび割れ・不陸のある場合は下地の補修を行ってください。
- ほこり・ゴミ・コケなどは十分に清掃してください。
- 夏期(一般用) 31℃以上の場合は施工を避けるか、早朝または夕方など、気温が下がってから施工してください。
- 「冬用」での5℃以下、15℃以上の施工は避けてください。



コンクリート・モルタル
金ゴテ押さえ



コンクリート・モルタル
木ゴテ押さえ



コンクリート・モルタル
刷毛引き

このセットに入っているもの(セット品のため材料は全てお使いください)



- 標準施工要領書(このパンフレット)
- 下塗り用バインダー
- 骨材混入用バインダー
- 骨材 ●目詰め材 ●水計量袋
- 顔料(目詰め材着色タイプの場合)

彩立上り洗い出しのセットには、一般用と冬用があります。

- 一般用は15~30℃(3~10月)
- 冬用は6~14℃(11~2月)

でご使用ください。

バインダーは、「下塗り用バインダー」と「骨材混入用バインダー」の2種類があります。ご注意ください。

施工前に用意していただくもの



※別売

セメント目詰め材用

- にチェックを入れて確認してください。
- | | | |
|-------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 金ゴテ | <input type="checkbox"/> ウェス | <input type="checkbox"/> 下げ缶 |
| <input type="checkbox"/> ゴムゴテ | <input type="checkbox"/> コテ板 | <input type="checkbox"/> 練缶 |
| <input type="checkbox"/> ゴムベラ | <input type="checkbox"/> 練舟 | <input type="checkbox"/> ハンドミキサー |
| <input type="checkbox"/> 刷毛 | <input type="checkbox"/> クワ | (セメント目詰め材用) |
| <input type="checkbox"/> スポンジ | <input type="checkbox"/> 台秤 | <input type="checkbox"/> ひしゃく |
- ※彩専用洗浄剤(4ℓ)は別売です。

×ご注意

骨材とバインダー(樹脂)を混練する際は、ハンドミキサー(手持ち式電動攪拌器)を使用しないでください。攪拌不良によりバインダー(樹脂)の発泡及び骨材のふくれが発生します。

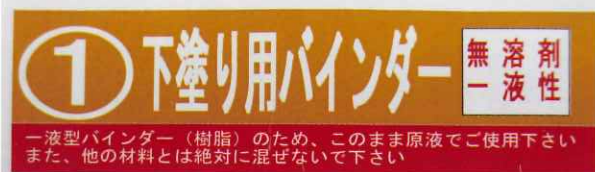


ヤブ原産業株式会社

YABUHARA Industry CO.,LTD.

1. 下塗り

1



①下塗り用バインダーを使用します。



②アルミパックの3方を切り開いて、コテ板、コテ等を用いて下塗り用バインダーを全量出します。



③バインダーを金ゴテ、ゴムベラ等で下地に全量を均一に塗布します。10分程度経過後（全体的に白くなったり、ふくれを生じる場合もありますが問題ありません）に骨材塗りを行ってください。

◆施工上の注意

- 他の部材等にバインダーが付着すると、その箇所が変色や染みになって除去できなくなる場合がありますので、十分注意して施工してください。（テープで養生しても、テープから浸みこむ場合があります。）
- 20～30分以内に骨材塗りを行ってください。（気温、湿度によっても変わります）
- 塗り残しが無いようにしてください。骨材のダレの原因になります。
- 下塗り材を多く塗り過ぎると、骨材を塗り付けた時に表面に下塗り材が出てきて綺麗に仕上がりにません。

2. 骨材とバインダーの混練

1



①骨材混入用バインダーを使用します。



②アルミパックの3方を切り開いて、コテ板、コテ等を用いて混入用バインダーを全量出します。



③練り舟に骨材1袋とバインダー1パックを全て入れます。



④混練は必ず手練りで、骨材を切るように骨材全体が濡れ色になるまで行います。

◆施工上の注意

- 混練が不十分の場合、強度不足やダレ、発泡の原因になります。
- セット以外の物は絶対に混入しないで下さい。
- ハンドミキサー（手持ち式電動攪拌器）の使用は避けてください。

3. 骨材塗り付け



①練り上げた骨材をコテ板に乗せます。



⑤次の列も同じようにして塗り付けます。



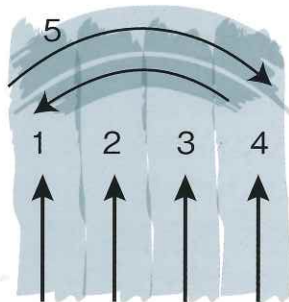
②コテ板を下地に押し付けます。



⑥ある程度の列(範囲)で塗り付けましたら、列同士がなじむように均します。



③力を入れてコテを下から真っ直ぐ上へ押し付けるように塗ります。



塗り方のイメージ図です。列で塗っていき、後で全体を押さえるイメージです。



④8mm厚で塗ります。



モルタルを塗るように、はじめから扇状には塗れませんのでご注意ください!!

◆施工上の注意

- 骨材の塗り付けは、下塗りのベタつきがあるうちに行ってください。
- 混練後の可使用時間は、一般用(30℃)約50分、冬用(15℃)約40分ですので、時間内に施工を終了してください。
- 骨材の塗り付けで、一度に塗り付ける範囲は20cm角程度にしてください。

4. 骨材の伏せ込み



①コテを彩専用洗浄剤で拭き、コテ切れをよくします。



②力を入れてコテ圧をかけ、しっかり押さえて骨材を密に仕上げます。
「3. 骨材塗りつけ」で塗った範囲ごとに骨材の伏せ込みを行ないます。

5. 骨材塗りつけ完了



養生時間：夏期 12時間以上。
：冬期 36時間。

**お疲れ様です。
本日の工程はここまでです。**

養生時間をおき、**樹脂が完全に硬化し、**
ベタつきがないことを確認してから
目詰めの工程に移ってください。

◆施工上の注意

- コテ波を消し、骨材が立たないように押さえてください。

6. 目詰め材の混練



①目詰め材 1袋に対する水量
水量は必ず一定としてください。 ●0.64~0.70kg



②ハンドミキサーでダマができないように十分に混練してください。
※着色タイプ (BWA-00BK, BR, GR, YE) の場合は先に付属の顔料を混練水の中に混入してよく攪拌してください。
(目詰め材 1袋に対し顔料 1袋の割合)

BK

BR

GR

YE

7. 目詰め材の塗り付け



練り上がった材料を骨材の空隙にゴムゴテですり込むように塗ります。

◆施工上の注意

- 必ず規定量の清水で混練してください。
- 水量を一定にしないと目詰め材の色ムラ、白華の原因になります。
- 目詰め材カラーの場合は先に付属の顔料を混練水の中に混入してよく攪拌してください。
- 夏期に塗り付けた骨材表面が熱くなっている場合は、施工を避けてください。

8. 目詰め材の塗り付け状況



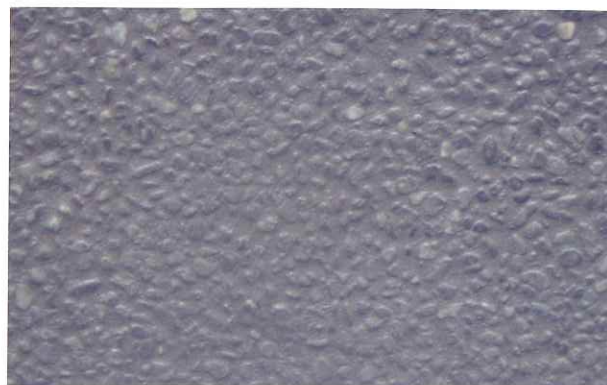
空隙がないように目詰め材を塗り付けます。できるだけ石目がでるようにかき出してください。

9. 目詰め材の粗拭き



石目がでるようにかき出しができていない場合は、スポンジに水をつけ固く絞り、目詰め材を拭き取ります。

10. 粗拭き状況



石目の出が均一になるように拭き取ります。

◆施工上の注意

- ゴムゴテは、新しいカドのある物を使用してください。
- 水をつけすぎると白華の原因になります。
- 石目が出ている場合は【11.拭き取り工程】を行ってください。

11. 拭き取り

1



①30分～60分経つと石の表面が白くなります。目詰め材を指で触って付着しなくなったら拭き取りを始めます。

2



②水をつけ、固く絞ったスポンジで拭き取ります。ムラが無くなるように丁寧に拭き取ります。

12. 仕上げ拭き

1



①スポンジの拭き取り後20分～30分で再度、石の表面が白くなります。

2

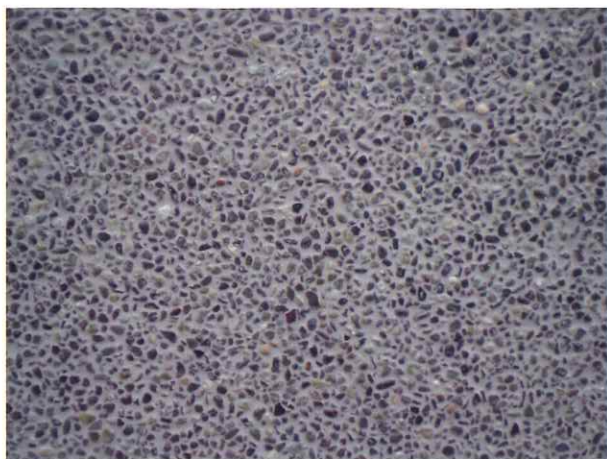


②仕上げ拭きは乾いたスポンジかウエスで石の表面についた目詰め材のセメント粉を拭き取って仕上がりとなります。

◆施工上の注意

- 水をつけすぎると白華の原因になります。
- 目詰め材はセメントを使用しているため施工条件により、白華がでる場合があります。

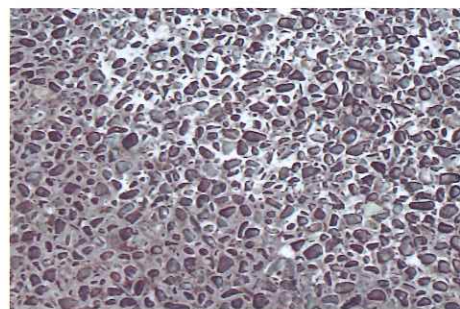
13. 完了



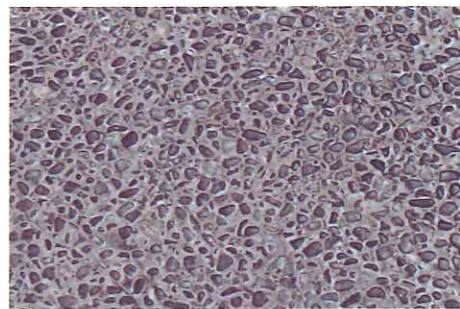
石に艶が出てきます。

白華の対処法

もし白華が出てしまった場合スーパーエフロクリーン(別売)で白華を除去できます。



洗浄前

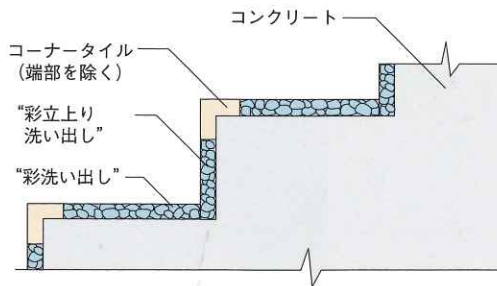


洗浄後



納まり

●階段（出隅）の仕上げ

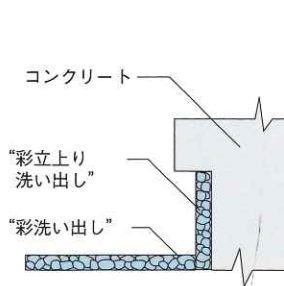


段鼻部の仕上げはコーナータイルか平タイルでの処理が理想です。

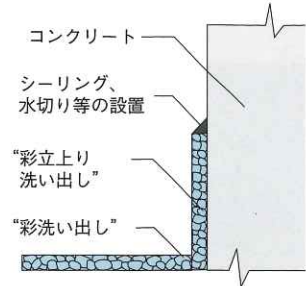
※排水設備は必ず設けてください。 ※区画目地は原則として、コンクリート目地に沿って設置します。

※床用は「彩洗い出し2分石1㎡セット(8mm厚)」と「彩洗い出し3分石1㎡セット(10mm厚)」があります。

●巾木（入隅）の仕上げ



●出巾木の仕上げ



施工上の注意事項

骨材の塗り付け工程

- 他の部材等にバインダーが付着すると、その箇所が変色や染みになって除去できなくなる場合がありますので、十分注意して施工してください。(テープで養生しても、テープから浸みこむ場合があります)
- 雨の日の施工、未乾燥下地の施工は、正常に硬化しませんので避けてください。また、未硬化のうちに降雨の恐れがある場合の施工も避けてください。
- 骨材・目詰め材は絶対に濡らさないでください。もし骨材が水濡れた場合は、広げて十分に乾燥させてください。水に濡れた目詰め材を使用すると硬化不良になる場合があります。
- 強風などにより、硬化前にホコリやゴミが付着する恐れがある場合は施工を避けてください。
- 夏期の直射日光下に材料を長時間置きますと、材料温度が高くなり、可使用時間が極端に短くなるため、保管場所にご注意ください。
- 冬期、気温5℃以下または、夏期31℃以上での施工は避けてください。
- バインダーが肌に付着しないようゴム手袋を使用し、万一肌に付着した場合は、石鹸ですぐに洗い流してください。
- 使用した用具は「彩専用洗浄剤」で良く洗ってください。
- 施工の高さは腰壁程度（約1m）としてください。

目詰め工程

- 目詰め工程に入る前に下記事項に注意してください。
- 降雨などにより、塗り付けた骨材の表面や隙間に水が残っている場合は、目詰め工程には入らないでください。白華・浮きの原因となる場合があります。
- 樹脂が完全に硬化しベタつきがないことを確認してください。
- 目詰め材は絶対に濡らさないで下さい。濡れた場合は使用できません。

【注意書き】

【安全対策】

- 容器を密閉しておくこと。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護マスク、保護衣を着用すること。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 粉じん、蒸気、ミスト、スプレーを吸入しないこと。
- 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 取扱後は良く手や顔、眼を洗い、うがいをすること。
- 環境への放出を避けること。
- 水・アルコール類・アルカリ性物質との反応するので、密閉容器中でこれらのものと混合しないこと。

【応急措置】

- 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合、直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
- 皮膚または髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎまたは取り除くこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。

- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに、医師に連絡すること。
- 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
- 暴露またはその懸念がある場合、医師の診断/手当てを受けること。●飲み込んだ場合、口をすすぐこと、無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 漏出物は回収すること。

【保管】

- 容器を密閉して、涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。
- 0℃から40℃の雨露」のかからない場所で保管すること。
- 子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

- 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
- ※詳細な内容は、安全データシート(SDS)をお読みください。

- ・骨材は天然石のため、ロットにより多少色調の違う場合がありますのでご注意ください。
- ・骨材は天然石のため、錆が出る場合があります。
- ・酸性の影響によっては、骨材が欠けたりする可能性があります。

※商品の仕様等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。



ヤブ原産業株式会社

本社 / 〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
☎ 048(297)4111 Fax 048(290)1198
URL <http://www.yabuhara-ind.co.jp/>
E-mail hanbai@yabuhara-ind.co.jp